

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	計画特論	担当教員	鶴田佳子		
学年学科	5年 建築学科	前期	選択	1 単位	
学習・教育目標	(D-2 設計・システム系) 100%		JABEE 基準 1 (1) : (d)		
授業の目標と期待される効果： 建築計画や都市計画を進める上で基礎となる社会的要求を把握するために必要な調査手法を習得すること、および調査によって得られたデータの集計・解析手法を習得することを目的とする。 ①アンケート調査手法の習得。 ②調査データの単純集計手法の習得 ③調査データのクロス集計手法の習得 ④多変量解析手法の種類と使い方の理解 ⑤重回帰分析手法の習得。		成績評価の方法： 平常試験 100 点＋レポート課題 100 点とし、総得点率 (%) によって成績評価を行なう 達成度評価の基準： 教科書の演習問題と同レベルの試験及びレポートで 6 割以上の正答レベルまで達していること。 成績評価の重みは、①～⑤を各 20% とする。 ①アンケート調査票がほぼ正確 (6 割以上) に作成できる。 ②調査データの単純集計がほぼ正確 (6 割以上) できる。 ③調査データのクロス集計がほぼ正確 (6 割以上) にできる。 ④多変量解析の手法の種類と使い方に関する問題をほぼ正確 (6 割以上) に解くことができる。 ⑤重回帰分析によるデータ分析がほぼ正確 (6 割以上) にできる。			
授業の進め方とアドバイス：前半で、アンケート調査手法、調査データの集計および解析手法について学習する。後半では、学習した手法を使い、実際にアンケート調査を実施して、データの集計および解析を行いレポートを作成することによって理解を深める。					
教科書および参考書：すぐわかる EXCEL によるアンケートの集計と解析 (内田治 東京図書)					
授業の概要と予定：前期					AL のレベル
第 1 回：計画のための調査手法					
第 2 回：アンケート調査 (アンケートの計画・標本調査法・調査票の作成)					
第 3 回：アンケートのデータの種類の種類と処理と調査データの単純集計					C
第 4 回：調査データのクロス集計					C
第 5 回：多変量解析手法					
第 6 回： ”					
第 7 回：重回帰分析					
第 8 回：中間のまとめ					
第 9 回：演習 (アンケート票の作成)					A
第 10 回：演習 (調査とデータの入力)					C
第 11 回：演習 (調査データの単純集計)					C
第 12 回：演習 (調査データのクロス集計)					C
第 13 回： ”					C
第 14 回：演習 (調査データの重回帰分析)					C
第 15 回： ”					C

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	アンケート調査票が正確に(8割以上)作成できる。	アンケート調査票がほぼ正確に(6割以上)作成できる。	アンケート調査票が作成できない。
②	調査データの単純集計が正確に(8割以上)できる。	調査データの単純集計がほぼ正確に(6割以上)できる。	調査データの単純集計ができない。
③	調査データのクロス集計が正確に(8割以上)できる。	調査データのクロス集計がほぼ正確に(6割以上)できる。	調査データのクロス集計ができない。
④	多変量解析の手法の種類と使い方に関する問題を正確に(8割以上)解くことができる。	多変量解析の手法の種類と使い方に関する問題をほぼ正確に(6割以上)解くことができる。	多変量解析の手法の種類と使い方に関する問題を解くことができない。
⑤	重回帰分析によるデータ分析が正確に(8割以上)できる。	重回帰分析によるデータ分析がほぼ正確に(6割以上)できる。	重回帰分析によるデータ分析ができない。